

恵庭市立図書館改修基本構想概要

1 基本構想策定の趣旨

- ・恵庭市立図書館は、施設、設備の老朽化が進み、ユニバーサルデザインへの対応が充分ではない。
- ・ライフスタイル等の社会動向の変化を背景に、市民が図書館に求めるニーズも多様化・複雑化しつつある。



恵庭市立図書館改修基本構想は、施設や設備の老朽化が進む現図書館に求める役割、機能、運営内容等の具体的な姿を示すものであり、恵庭市立図書館基本計画に反映させるための基礎資料として位置付ける。

2 図書館を取り巻く環境の変化

●人口構成の変化

少子化・高齢化が進展しており、これまで働いていた人たちが退職するなどして、地域で過ごす人が増加しており彼らの居場所、子どもの居場所づくりと子育て支援の整備は解決すべき課題となっている。

●コロナ禍による生活スタイルの変化

オンラインエンターテインメントやソーシャルメディアなど、デジタルメディアへの依存が一層高まり人々の関心や時間が多種多様化し読書の機会が減少したという側面がある。

●外国人や外国語資料の収集などの国際化機能

ここ数年、外国人口労働者や留学生が増加している。日本語以外の言語で書かれた書籍や絵本の必要性が高まっている。

●居場所としての機能

インターネットが普及し、どこにいても書籍や情報のデータベースとつながる環境が整備されてきたと同時に、図書館の空間の貴重性や重要性が再認識されてきている。

●市民の交流・連携

読書や学習などの知的活動を通じた住民交流の場、コミュニティ活動の場としての役割も重要である。

3 市民ニーズ

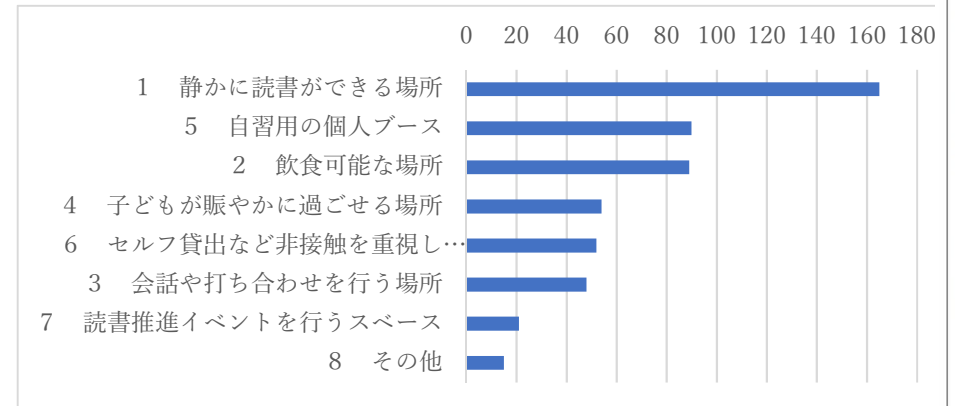
市民アンケート調査・市民懇談会実施

図書館利用者アンケート	図書館（品管・分館）来館者	回答数 408 件
市民 Web アンケート	北海道電子申請サービス（HARP）使用	回答数 261 件
小学生アンケート	総合学習時（4 年生）アンケート用紙配布	回答数 126 件
中学生アンケート	学校図書館にアンケート用紙配布・回収箱設置	回答数 16 件
高校生・大学生アンケート	北海道電子申請サービス（HARP）使用	回答数 75 件
ボランティア交流会	図書館・学校図書館ボランティア相互交流会	参加者 20 名
市民懇談会（3 回開催）	緑と語らいの広場、図書館本館、図書館島松分館	参加者 22 名
図書館シンポジウム	参加者にアンケート用紙配布・北海道電子申請サービス（HARP）使用	参加者 43 名 回答数 35 件

市民アンケート等調査結果（抜粋）

- ・アンケートや市民懇談会などで、回答や自由意見を伺い、市民の多様な意向を把握することができた。
- ・児童生徒においては「静かに読書」「賑やかにできる場所」「自習用の個人ブース」「飲食スペースの充実」望まれており、イベントの PR 不足が課題となった。
- ・市民 Web アンケートでは「静かに読書できる場所」「自習用の個人ブース」「飲食可能な場所」「子どもが賑やかに過ごせる場所」の回答が多く、自由意見では、駐車場が狭い、貸出ロッカーの設置、読書だけではなく交流の場としての活用などのご意見をいただいた。
- ・市民懇談会では「つながりの場」「コミュニティの場」としての役割が重要であるご意見をいただいた。

図書館にどのような設備・環境を期待しますか。（市民 Web アンケートより）



資料No.11

総務文教常任委員会所管事務報告資料
令和6年10月1日【教育部読書推進課】

4 基本理念(めざす姿)

『つながる図書館』

市民ニーズが抱える課題が多様化・複雑化している今、図書館は「つながる」という機能を大切にしたいと考えます。

知や情報、本と人がつながる。人と人、地域や組織がつながる。つながることで新しい可能性をひらき、暮らしをより豊かにします。

恵庭市立図書館は誰もが、自分なりに使い、楽しみ、本と人、人と人が「つながる図書館」であることを目指します。

5 導入機能等の方向性

●読書啓発及び生涯学習

市民が「いつでも、どこでも、だれでも」が、求める図書等を閲覧できる環境の整備。

赤ちゃんから高齢者まで、生涯各期に応じた読書活動のための機能、障がいのある人や外国人の方等が、快適に利用できる施設。

図書館を読書だけの場所として捉えるのではなく、多世代が学ぶ場として捉え、生涯に亘って学び、創造し、充実した人生を送れるよう、有機的な学びの空間。

●子どもの健全育成

子どもと保護者がともに読書に親しめることを基本とし、成長や発達段階に応じた読書環境の整備。

●青年期の読書活動

15～25歳の青年期は、社会人となって様々な問題に対し、人生を生き抜くために必要な教養を育む時期であり、読書が一番必要な年代であるため、高校・大学等世代に提供する図書を収集すると共に学習・交流スペース等の空間の提供。

●ICT化対応

インターネット、Wi-Fi、セルフ貸出機、予約図書受取ロッカー、電子図書館などといったICT化を進めながら市民が使いやすい図書館を目指す。

●飲食機能等の充実

図書館内には、清涼飲料水の自動販売機しかないことから、館内で気軽に軽食等が購入でき、長時間滞在できる機能が求められており、このような機能の検討が必要である。

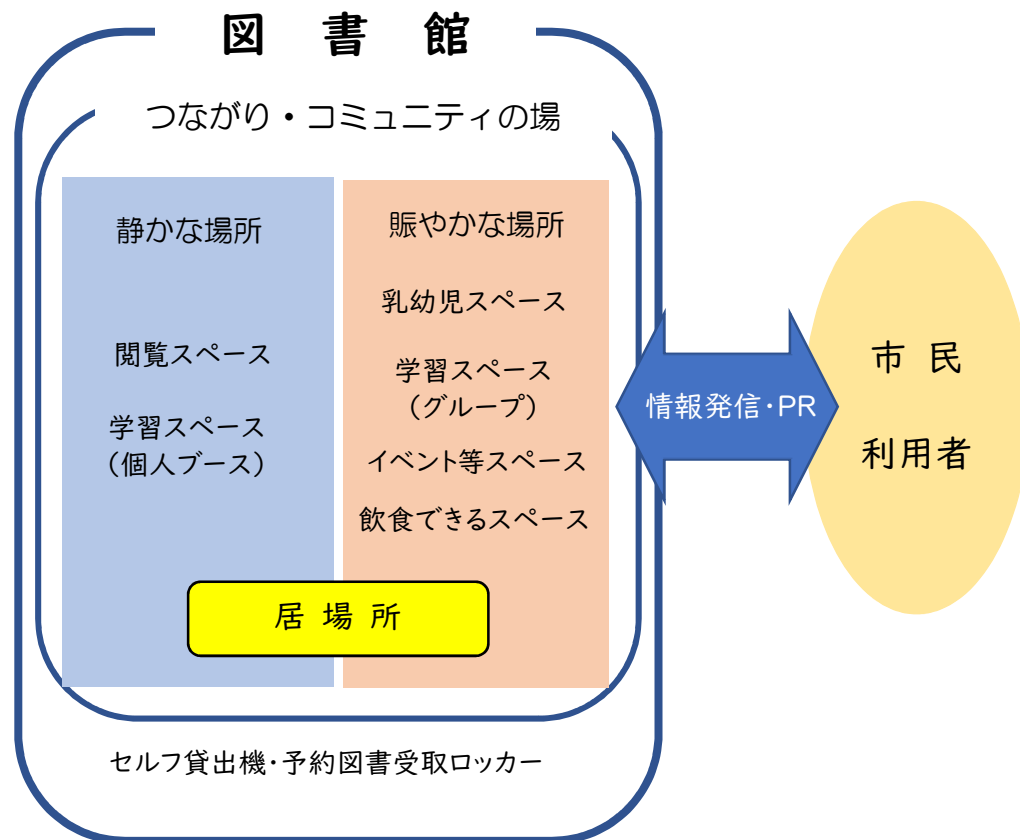
●空間の設計

図書館は「静かにしてなければならない場所」という印象が強い。結果として、子育て世代が図書館利用を敬遠したり、イベントの制約を課している可能性がある。

一方で「静かに読書を楽しみたい」という声もあり、多様なニーズに対応するためには適切な音のゾーニングが重要となっている。

●施設整備の必要性

図書館は、子どもから高齢者まで幅広い年代が利用する施設であり、また、車いすやベビーカーなど誰もが利用しやすい「ユニバーサルデザイン」の考え方や施設整備が重要となっている。また、施設の有効的な利用方法の検討が必要である。



6 今後のスケジュール(予定)

●今後のスケジュール(予定)

令和6年度 恵庭市立図書館改修基本構想策定

図書館シンポジウム・図書館劣化診断調査

令和7年度 恵庭市立図書館改修基本計画策定、長期修繕計画策定

民間活力導入可能性調査

令和8～10年度 事業者公募・選定

	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	4～9	10～ 3	4～9	10～ 3	4～9	10～ 3	4～9	10～ 3
基本構想策定								
劣化診断調査								
基本計画								
民間活力導入 可能性調査								
長期修繕計画								
事業者公募 ・選定								